

# まちの財政が危ない

合併するとよくなると思っていたのに……。そんな声をよく聞きます。新聞報道などでも、町の財政が悪化していると報じられています。現に、町は借金返済に追われる財政の危機を迎えています。町の借金は総額230億719万円。町民一人あたりに換算すると約90万円になります。この金額は、この町に住む生まれたばかりの赤ちゃんも等しく背負うこととなります。将来、地域を担う子どもたちが、夢を描けるような町を残してあげたい。そんな気持ちは誰もが持っているはず。なぜ、この町は財政が危なくなったのか。まちの財政状況と財政危機の原因を探り、これまで取り組んできたことを振り返りながら、これからの取り組みを町民の皆さんと一緒に考えてみましょう。



上牟田 實 さん

## 将来を見据えた行政の取り組みに期待します

旧3町とも昔から農業を基盤とする地域ですが、高齢化や後継者不足が進み、地域農業は確実に衰退しています。また、集落のコミュニティ力も低下しています。一方で、農村集落は国土・自然環境の保全などの役割も担っています。早急に町財政の健全化を図り、農村集落の将来を見据えた行政の取り組みに期待したいです。もちろん、集落で出来ることは集落ぐるみで取り組まなければならないと思います。



久木留スミ子 さん

## 女性の視点から、解決できることも多くあります

町の財政問題については、女性もしっかりと目を向けることが大切だと思います。女性の視点から見えるもの、解決できることも多くあると思います。財政難をどうやって乗り切るか、町民みんなで知恵を出し合い、話し合うことが大切だと思います。清掃活動やゴミの分別など住民が出来ることは多くあります。自分たちで出来ることは自分たちです。そのことが、行政の無駄を省くことにもつながると思います。



河野 武雄 さん

## 財政問題は、私たち一人ひとりの問題です

町の財政問題は、行政の問題だけではなく、私たち一人ひとりの問題だと思います。地域の課題は行政に頼るばかりでなく、解決できるものは地域で取り組むことが必要だと思います。現に柏原区では、区内の公共グラウンドや町道などの草払いを区民の理解と協力のもとに行っています。町に財政力を高めてもらうためにも、今は我慢の時だと思います。町民みんなが一体となってこの財政難を乗り切り、未来のある明るい町を後世に残したいものです。

# 財政難問題

## この町は生き残れるの？

まちの借金

**230億 719万円**

平成19年3月31日 現在